audio-technica

AT-RX4500A

取扱説明書

クワトロハイブリッドラインケーブル

Rexat

お買い上げありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

■安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。なお、下記の内容は当社の車載用製品全般について記載していますので、お買い上げいただいた製品には当てはまらない内容もありますが、ご了承ください。

⚠ 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠ 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

⚠ 警告

- **DC12Vマイナスアース車専用**
  24V車で使用しないでください。故障や火災の原因になります。
- **配線作業の前に必ずバッテリーのマイナス端子 →プラス端子の順にケーブルを外す**
  ショートによる感電や火災の原因になります。
- **ステアリング系統、ブレーキ系統、燃料タンクなどの保安部品に使用しているボルトやナットは絶対に使用しない**
  火災や事故などの原因となります。
- **運転操作の妨げにならない場所に取り付ける**
  交通事故の原因となります。
- **分解や改造はしない／ケーブル類は途中で切断しない**
  感電、事故や火災の原因になります。
- **エアバッグの動作の妨げにならない場所に取り付ける**
  エアバッグが正常に動作しないなどの事故の原因になります。
- **異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない**
  異常が起きたらすぐに電源を切り、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに相談ください。そのまま使用すると、事故や火災などの原因になります。
- **幼児の手の届く所に置かない**
  事故の原因になります。
- **布などで覆わない**
  火災や事故の原因になります。
- **作業終了後、電装品が正常に動作するか確認する**
  正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

⚠ 注意

- **取り付け・配線は専門技術のある販売店に依頼する**
  安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。誤った取り付け・配線を行うと、事故の原因になります。
- **ネジやシートレールなどにケーブル類を挟むなど、可動部の妨げになる取り付けや配線は行わない**
  断線やショートにより火災など事故の原因となります。
- **濡れた手で触れない**
  感電やけがの原因になります。
- **ケーブル類が金属と接触する場合は保護テープを巻く**
  保護テープを巻かずに使用すると、火災や感電の原因になります。
- **以下の場所には取り付けない**
  ■エンジンやマフラーの配管付近 ■直射日光の当たる場所 ■ヒーターの熱風が直接当たる場所 ■雨や水のかかる場所 ■振動の多い場所 ■固定できない不安定な場所 ■通風孔や放熱板をふさぐ場所 ■熱のこもる場所

■使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- ケーブルは必ずプラグを持って抜き差ししてください。
- 本製品の構造上、ケーブル部が重くなっています。ピンプラグに荷重が集中するような設置は避けてください。

■テクニカルデータ

プラグ外径	13mm
ケーブル外径	8mm
芯線抵抗	46mΩ/m
静電容量(2芯線間)	55pF/m
静電容量(芯線-シールド間)	122pF/m
導体断面積	0.48mm²

改良のため予告なく変更することがあります。

■長さ

0.7m	1.3m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m

■クワトロハイブリッドインシュレーションシステムについて

チタン入りレオストマー：弾力性を持つ素材であるレオストマーが導体の振動を抑え、さらに振動伝搬速度が異なるチタンを配合することで、一対の導体や周りに逆方向の磁場ができることから生じる渦電流損失やノイズを減衰します。ケーブルのしなやかな扱いやすさはそのままに、さらなる高音質を実現する素材です。

マグネシウムウィスカー：マグネシウムウィスカーは質量が軽く、高硬度／高強度の特長を持っています。マグネシウムの微細なウィスカー(ヒゲ状の単結晶繊維)をPVCシースや絶縁材に加えることで、機械特性を向上させて振動を抑制します。これにより明確な定位と明瞭な音場を得ることが可能となります。

マイカフィラー：天然鉱物であるマイカ(雲母)を粉砕することで得られる、高弾性率・高アスペクト比を持つ薄い板状の補強材です。フィラー(充填剤)として樹脂に添加することで高い制振性を付与させることが可能です。電気絶縁性・耐熱性にも優れており、ケーブルにとって理想的な制振材料です。

ハネナイト：ハネナイトは衝撃を受けてもほとんど反発せず振動吸収性に優れた素材です。この制振に優れたハネナイトをケーブルにインシュレーターとして内蔵することで、振動を積極的に減衰させて、静かで音像ハッキリとした力強い音色を実現します。

■クワトロハイブリッド導体について

7N-Class D.U.C.C.、PCUHD、6N-OFC、HYPER OFCそれぞれの特長を生かして独自のブレンドで音源を忠実に再現しました。

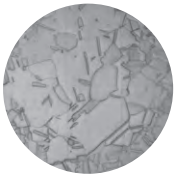
■ 7N-Class D.U.C.C.

「7N-Class D.U.C.C.[※1]」とは、特殊レベルで品質管理された原料・製法で製造される世界最高水準の7Nクラス高純度銅を使用した、ハイエンドオーディオケーブル専用の高純度銅導体です。

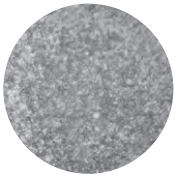
従来のオーディオケーブルに使用されていた高純度(6N)導体は、結晶粒が粗大化[※2]されており、音質に悪影響を及ぼすと言われている伝送系路上の結晶粒界(結晶と結晶の境界面)が少ないという特長がありました。

その後、導体の結晶配向性[※3]に着目した研究が行われた結果、オーディオ用として最適な結晶配向が得られる製造プロセスが確立されました。「純度」「結晶の大きさ」に加え、「結晶の配向性」も最適化し、従来の高純度導体と同等の結晶サイズを持ちながら、結晶の方向が最適に制御された高純度銅導体が誕生しました。

※1 Dia Ultra Crystallized Copperの略。
※2 銅の純度を極限まで高め、熱処理によって結晶粒を一般的な純銅の数十倍以上の大きさに成長させること。
※3 物体内で、結晶がランダムではなくある方位に優先的に向くこと。



7N-Class D.U.C.C.の組織写真



通常銅導体の組織写真

■ PCUHD／6N-OFC／HYPER OFC

PCUHD：Pure Copper Ultra High Drawability(高純度無酸素銅線)。厳選した原材料を用い、介在物／不純物の混入を厳しく管理した工程にて鋳造した純度4Nの無酸素銅線です。不純物の中で特に混入しやすい酸素についても、工程内でガスバーナーを使用せず、装置内部を不活性ガスで充填することにより、一般的な無酸素銅線の規格を下回る5ppm以下に抑えています。

6N-OFC：純度99.99997%の無酸素銅です。

HYPER OFC：日本国内でディップフォーミング製法により製造された純度4Nの無酸素銅線を使用し、伸線時にアニール処理を施した軟銅線です。ディップフォーミングとは、熱で溶けドロドロの状態の銅の中に銅母線を通過させることで温度差によって銅付着凝固させて太くしていく製法です。他の製法と比較し、線の外側ではなく内側から凝固していくため、酸素やガスが抜けやすく鋳造欠陥が少ないという特徴を持っています。

■構造図



D.U.C.C.：「D.U.C.C.」は三菱マテリアル株式会社の登録商標です。
PCUHD：「PCUHD」は古河電気工業株式会社の商標または登録商標です。
LEOSTOMER®：「レオストマー」はリケンテクノス(株)のコンパウンド商標または登録商標です。

■ ピンプラグの差し込みが緩い場合

ピンプラグ／ピンジャックは、組み合わせによって差し込み具合が合わない場合があります。また、本製品は剛性・音質を優先した削り出し品のためバネの幅が狭くなっています。接続する際に差し込み具合が緩く感じられることがありますが、製品不良ではありませんので安心してご使用ください。

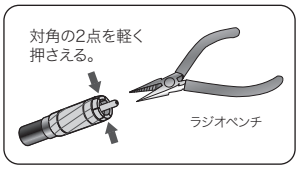
■ 差し込み具合が気になる場合の調整方法

以下の調整作業をおすすめします。

① ピンプラグのグランド部の対角2点を、ラジオペンチで軽く押さえます。（右図参照）

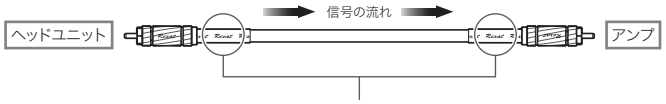
② 緩い場合は、ほかの対角の2点も同様に軽く押さえます。

- 製品が傷付かないよう、ピンプラグのグランド部を布などでカバーして作業を行ってください。
- 差し込み具合が強すぎるとピンプラグ／ピンジャックの故障や破損の原因になります。調整作業の際は、充分にご注意ください。



■ 接続例

ヘッドユニットとアンプを接続する場合



収縮チューブのRexatの文字の向きと信号の流れを合わせる

アフターサービスについて

本製品を車載用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。

修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先（電話受付 / 平日9:00～17:30）

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●お客様相談窓口（製品の仕様・使いかた） 0120-773-417
（携帯電話などのご利用は 03-6746-0211）
FAX：042-739-9120 Eメール：support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター（修理・部品） 0120-887-416
（携帯電話などのご利用は 03-6746-0212）
FAX：042-739-9120 Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

●ホームページ（サポート）
https://www.audio-technica.co.jp/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
©2025 Audio-Technica Corporation
www.audio-technica.co.jp 172403420-01-01 ver.1 2025.09.15